

TOTO

ダイヤフラム部(HH11113)

安全に関するご注意 (安全のために必ずお守りください)

施工の前に、この「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

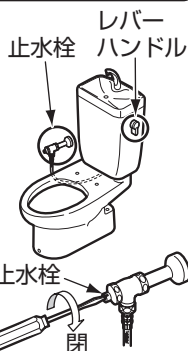
表示	意味
注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

❗ は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

取付方法

1 止水栓を確認する

止水栓を閉めてから(マイナスドライバーで右に止まるまで回す)、タンク内の水を流す。



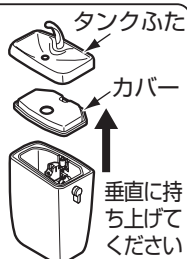
注意



ダイヤフラム部を交換するときは必ず止水栓を閉め、タンクの水を流してから行う
止水栓を閉めないで水が噴き出して、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

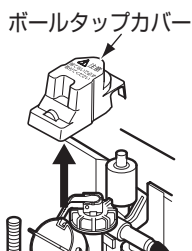
2 タンクのふたを開ける

タンクふたは落とさないように注意する
破損してけがをするおそれがあります。



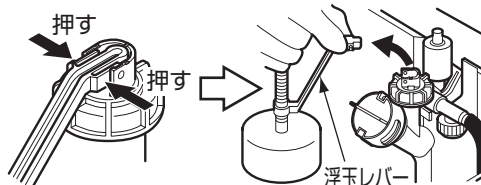
3 ボールタップカバーを外す

ボールタップカバーがセットされている場合は、ボールタップカバーを外す。
※セットされていない商品もありますので、その際は次の④に進んでください。



4 浮玉レバーを外す

浮玉レバーの根元をつまんで浮玉レバーを外す。
※下図の部分を押しながら上に持ち上げる。



5 ナットを外す

ナットを手で左に回して外します。
※ナットは固くて回しにくい場合があります。

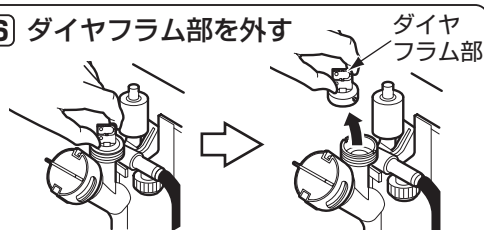
注意



ボールタップを手でしっかり支えて、ナットを外す
手で支えていないとボールタップが破損し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



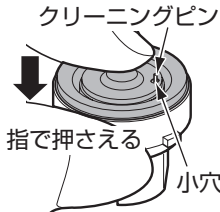
6 ダイヤフラム部を外す



裏面につづく →

⑦ 新しいダイヤフラム部に交換する

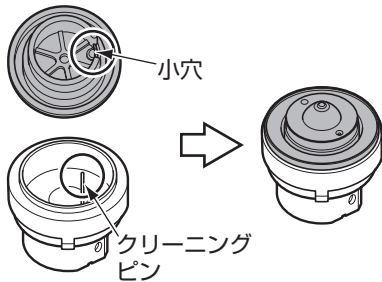
①新しいダイヤフラム部を指で押さえてクリーニングピンが小穴から出てくることを確認してください。



注意

クリーニングピンがきちんと穴にセットされていないと、止水不良になったり、水が噴き出して家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

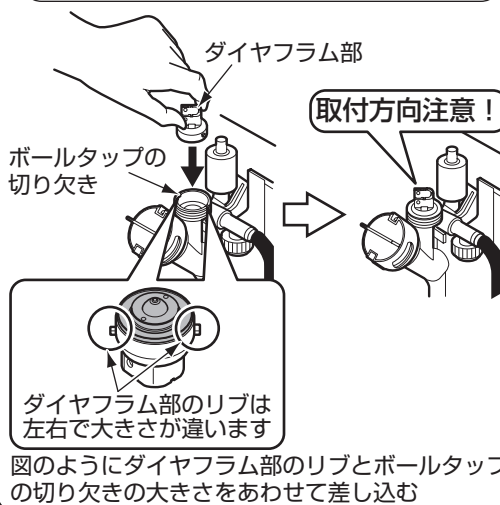
■黒いゴム部が外れてしまった場合
・小穴とクリーニングピンをあわせてセットしてください。
その際、クリーニングピンを曲げないように注意してください。



②ボールタップの切り欠きにあわせて差し込みます。

注意

！ 大きさを合った切り欠きに必ず差し込む
確実に差し込まないと水漏れして家財などをぬらす
必ず実行 財産損害発生のおそれがあります。

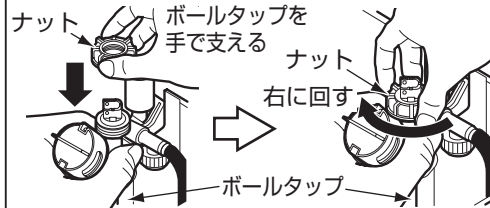


⑧ 先ほど外したナット、浮玉レバー、ボールタップカバーを元に戻す

①ナットを手で右に回してしっかりと締め付ける。

注意

！ ボールタップを手でしっかり支えて、ナットを締め付ける
手で支えていないとボールタップが破損し、水漏れして
必ず実行 家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



②浮玉レバーの根元をつまんで、浮玉を取り付ける。

注意

！ 浮玉レバー両端の突起を「カチッ」というまで
確実に差し込む
必ず実行 浮玉レバーが確実に差し込まないと止水不良
になります。

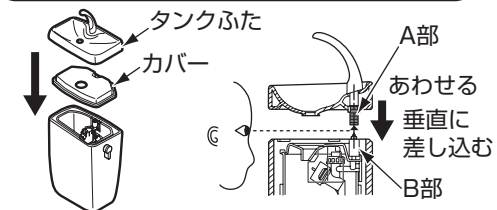


③ボールタップカバーがセットされていた場合は、ボールタップカバーをセットする。
※セットされていない商品もありますので、その際は次の⑨に進んでください。

⑨ カバーとタンクを元に戻す

注意

！ 手洗い付きの場合、A部をB部に必ず差し込む
確実に差し込まれていないと水漏れして家財などをぬらす
必ず実行 財産損害発生のおそれがあります。



⑩ 止水栓を開ける

止水栓を開き(マイナスドライバーで左に回す)タンクに給水させ、水が止まったことを確認する。
何度か水を流して、作動に問題がないことを確認ください。

